

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

秋田県横手市 大森病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	13	-	ド	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
84,294	9,564	非該当	非該当	10:1

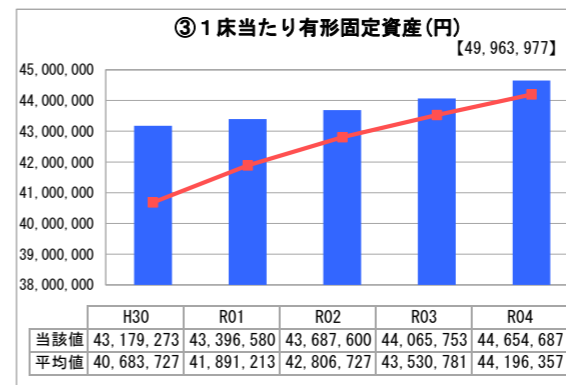
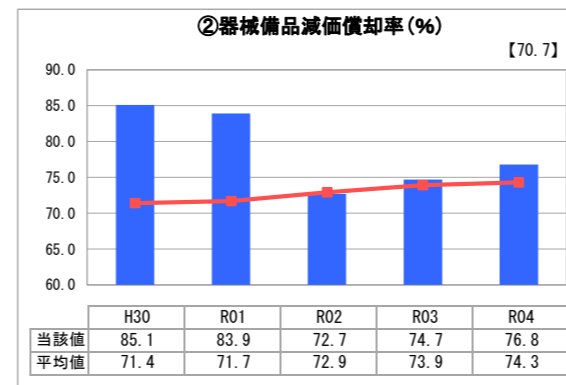
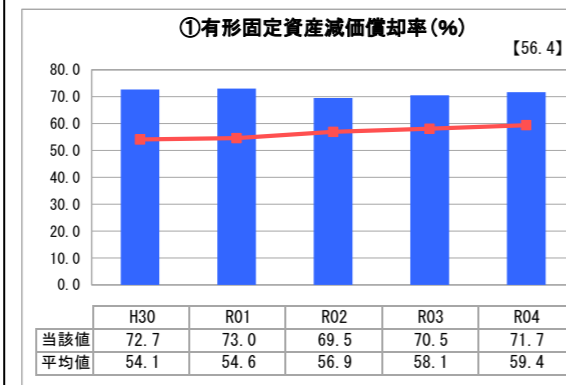
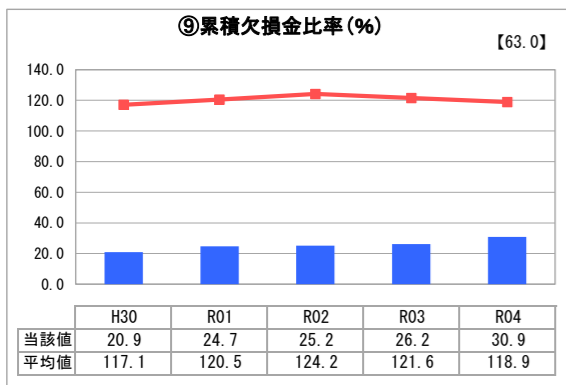
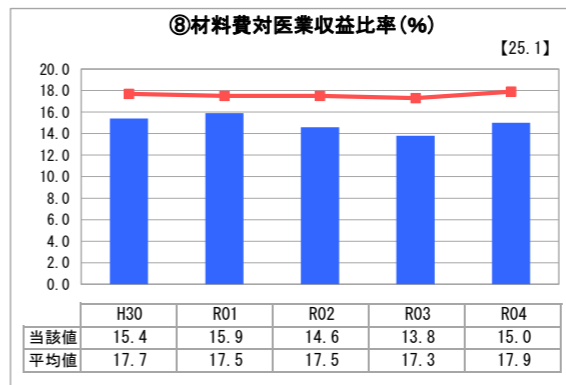
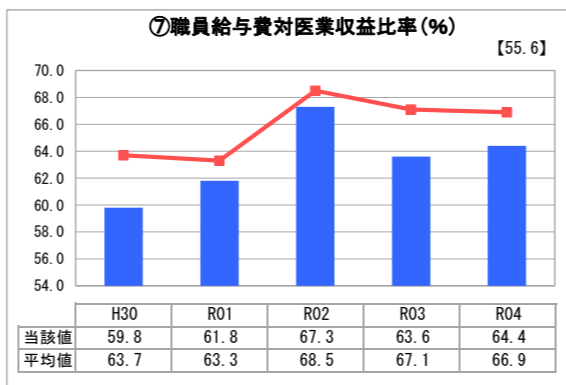
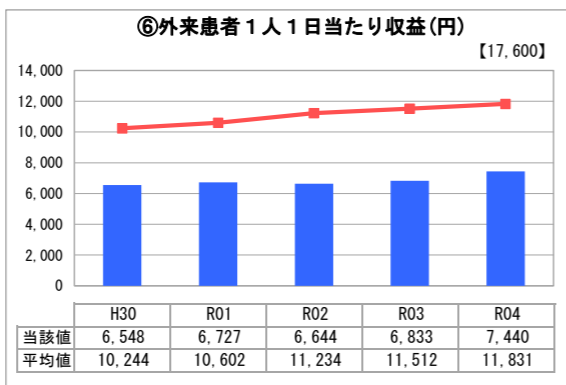
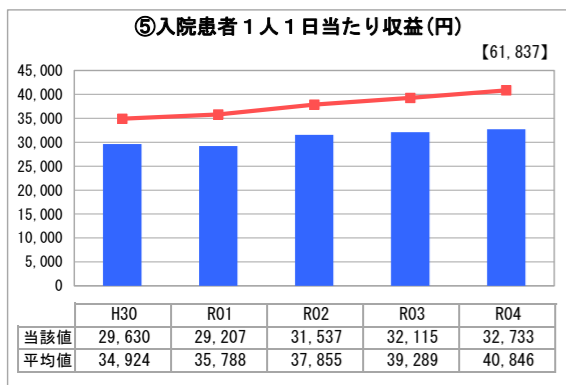
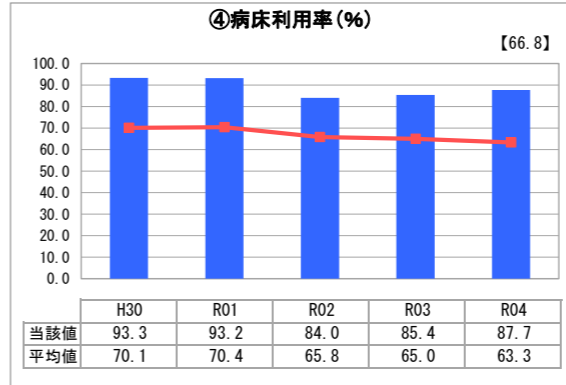
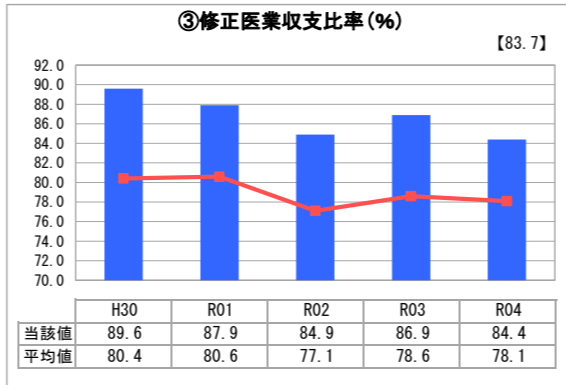
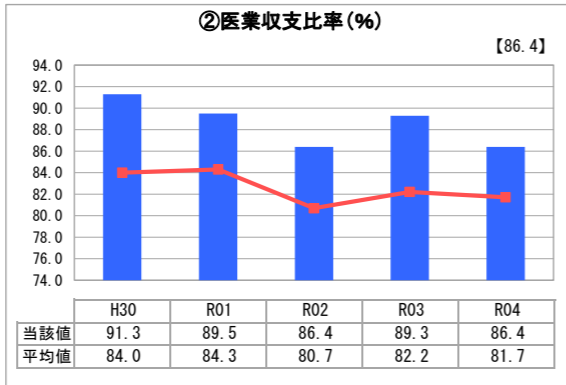
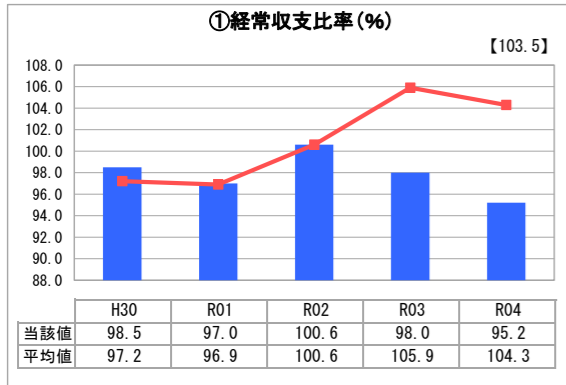
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
100	50	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	150
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
100	50	150

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
機能分化・連携強化 （従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

### I 地域において担っている役割

住民の健康増進、保健衛生、高齢福祉に関する総合的サービス拠点「健康の丘おもり」の中核施設として、また地域密着型病院として地域住民の安心安全な生活へ寄与する地域包括ケアを推進し、診療所、介護施設等との連携強化や訪問系サービスの充実など積極的に取り組んでいる。

外来機能については、開業医も少なくなる状況にあり「かかりつけ医機能」も担う。

救急告示病院として救急患者の受入を行うとともに新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関として病床を確保し受入を行っている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全化を示す経常収支比率について、医業収益は入院患者の増や入院及び外来単価の増により約4%増加したものの、医業費用では給与費、材料費の増加に加え電気料単価上昇の影響で経費も増加し、平均値を大きく下回っている。

効率性を示す職員給与費対医業収益比率については、医業収益は増加したものの、それ以上に常勤医師の増、退職手当負担金の再開などにより給与費が増加したため、昨年度より数値が上昇している。

今後は人口減少が進み、患者数の減少が予想されることから、病床再編や療養病床稼働率の向上、高齢者施設との連携による患者確保などによる収益改善や、業務効率化による適切な人員配置などにより経費削減を推進していく。

#### 2. 老朽化の状況について

施設や器械備品の老朽化度を表す各減価償却率は、平均値を大きく上回っており、老朽化が進んでいることが示されている。

病院移転新築後25年が経過しており、年次計画により空調設備、エレベータの改修、電灯LED化などを行っているが、給排水設備や発電設備などは老朽化が著しく、大規模改修に向けて設備を共有している市老健施設や保健施設を所管する市当局と調整を行う必要がある。

#### 全体総括

経常収支比率が令和3～4年度で平均値を大きく下回っている。その他の指標では、患者1人1日当たり収益は入院、外来とも平均値と大きくかけ離れている。単価を上げていくため、加算・指導料算定や検査・手術件数の増に向けて取り組んでいく必要がある。また、経常収支比率改善のための費用削減の取り組みとして、業務効率化による人件費抑制、全職員のコスト意識改革による薬品・医療材料費等の削減が必要である。MR装置の更新や建物の大規模改修の時期を迎え、さらに厳しい経営状況が予想されることから、収益確保、業務の効率化を推進し健全経営を目指していく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。